

えんど久子前市議など日本共産党 大分県に要望

高すぎる国保税引き下げを

日本共産党大分県委員会と地方議員団は、227項目の大分県への「2019年予算要望書」について、10月25日に大分県の担当者と話し合いました。

2割の世帯で国保税滞納

猿渡（えんど）久子県議予定候補は、「国保税の負担が重すぎて、別府では2割近い世帯で滞納している。中には無保険の人もいる。国民健康保険は県に責任が移った。国の負担を増やすよう働きかけを強め、大分県の財政支援を強めて引き下げるべきだ」と強く求めました。

「市民アンケートでも国保税が高すぎるという声が一番多い」「就学援助金を差し押さえられた」などと、参加者が口々に引き下げを求めました。

同じ所得で国保税額は2倍

県の担当者は「国の負担を増やすよう毎年要望している。2分の1を事業主が負担している共済組合などに比べ、同じ所得でも事業主負担がない国保は2倍ほどの額。所得に比べ高すぎることは認識している」と言うものの「県の財政負担を増やすことは考えていない」との回答です。

別府市の国民健康保険は、8億6000万円の赤字で、1億3000万近い基金が貯まっています。基金を活かすことも求め、県は「全体の中で市町村と一緒に話していきたい」と答えました。



11月8日の社会保障要求自治体キャラバンでは、別府市に国保税の引き下げや介護保険の改善などを求めました。

保険医協会・年金者組合などのみなさんと一緒に、別府市に訴えるえんど久子別府市生活と健康を守る会会長。

2018. 11. 8. 別府市役所にて

家族が多いほど高いなんてひどい

日本共産党は、11月1日に国保税を引き下げる政策を発表。全国知事会が求めているように1兆円の公費投入で、世帯の人数に応じてかかる均等割と各世帯にかかる平等割の廃止などを提案しました。

これを実行すれば、別府市で57万7700円の国保税が36万7100円に（年収400万40才代の4人家族の場合）、48万4700円が32万3000円に（年収400万30才代4人家族の場合）下がります。力をあわせてがんばりましょう。

日本共産党 県政ニュース

別府市石垣西8-2-31

日本共産党北部地区委員会

発行責任者 えんど久子

Tel.0977-22-6576

No.24

2018.11.20.

えんど久子のホームページはっぴーえんど・どっとねっとをぜひご覧ください。FBもしています。

えんど久子など日本共産党 大分県と話し合い

最大
6兆円

豊与海峡ルートはいらない

四国への橋もトンネルもいらない

大分県と愛媛県を橋かトンネルで結ぶ豊予海峡ルート構想は中止せよと、10月25日の県交渉で、えんど久子らは求めました。最大6兆円か

かるという計画です。県は「この構想を推進する必要性は高い。長期的観点で国等に要望する」と回答。世論を広げ中止させましょう。

保育士や児童クラブの待遇改善を

えんど久子らは、保育士や放課後児童クラブの支援員の待遇改善を求めました。

だ賃金は低く持ち帰り仕事が多い、などの実態を訴えました。

キャリアアップ処遇改善事業などで加算があるものの、そのための研修が現場には逆に負担になっている、まだまだ

放課後児童クラブのキャリアアップ処遇改善について、さらに進めるよう前向きに検討するとの回答でした。

酷暑のエアコン電気代支援を

夏の生活と健康を守る会の県交渉で、日田の会員は「連日35度以上の酷暑だが、低所得者は電気代を気にしてエアコンを使えない。夏は電気代の支援を」と訴えました。えんど久子県議予定候補らも支援を強く求めました。

これを受けて、10月25日の日本共産党の県交渉では、「大分県の発案で生活保護の夏季加算の創設を国に要望した」と回答。生の声が行政を動かし始めています。ぜひ、低所得者への電気代支援を実現しましょう

10月28日

大分県 赤旗祭り

10月28日(日) 大分市高尾山公園で行われた赤旗祭りに約1000人が参加。堤栄三県議、えんど久子県議予定候補が挨拶し、山下よしき参議院議員が講演。子ども神楽や豊後潮太鼓、買い物などを楽しみました

